

# RS基礎 〈路肩用自在R連続基礎〉

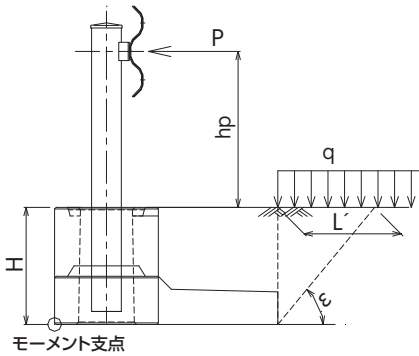
即日埋め戻しで工期短縮可能。直線からカーブへ自在に曲線へ対応。

## ●特長

1. 従来工法と比較して工期短縮が図れます。  
ボルト連結構造により生コン等が不要で、即日埋め戻しが可能となります。
2. 外Rは最小R=10mまで対応可能。  
チェーンの様に自在にカーブに対応し、底版の斜切りが不要です。
3. 最大縦断勾配10%まで対応可能です。
4. 現場打ち基礎と比較して、約1/3の工期短縮が図れます。



擁壁工指針及び、車両用防護柵標準仕様・同解説の連続基礎の設計を引用し安定計算をじています。



## 設計条件

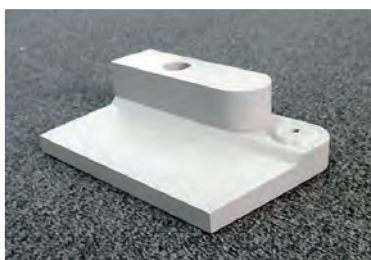
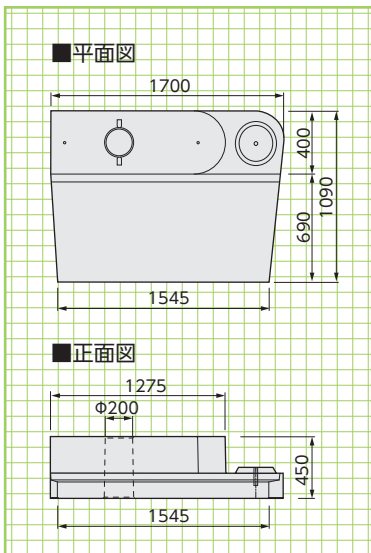
衝突高さ	hp=0.6m
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.5\text{kN/m}^3$
土の単位体積重量	$\gamma_t=19\text{kN/m}^3$
土の内部摩擦角	$\phi=30^\circ$
基礎地盤の摩擦係数	$\mu=0.6$
基礎地盤の許容支持力	必要支持力以上
輪荷重	Wt=25kN

種別	衝突荷重 (KN)	連続延長
B種 C種	30	10m
A種	50	16m

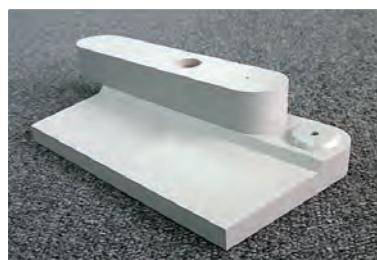
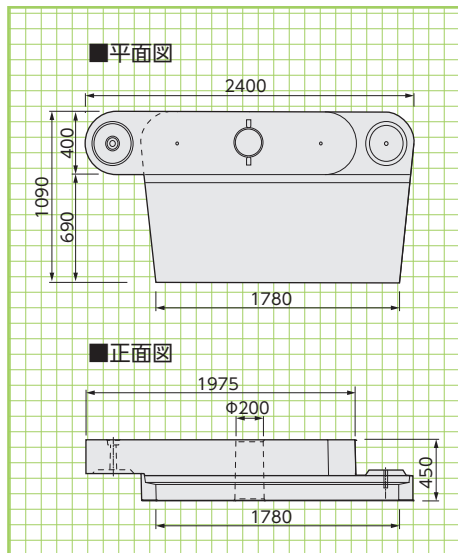
〔衝突荷重〕  
連続する基礎延長で衝突荷重を受け持つ1ブロックとして、1ブロック当たりの分布荷重を考慮します。

上記計算は通常路肩に設置する場合のもので、下部条件(補強土壁等)の場合は別途検討が必要となりますのでお問い合わせ下さい。

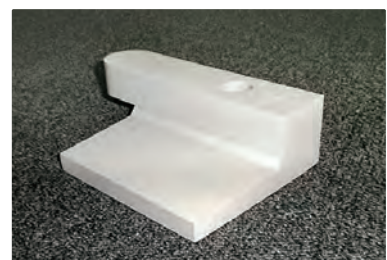
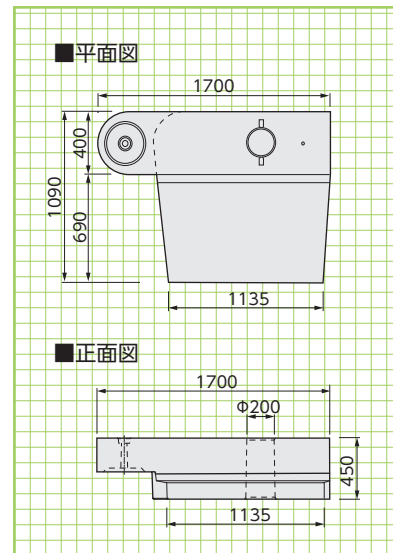
### 端部 A 参考重量:907kg



### 基本 参考重量:1159kg



### 端部 B 参考重量:841kg



基本形状

形状・寸法  
重量表

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

河川関連

貯水槽関連

その他

景観関連